

平成25年度 第8回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年（2013年）8月27日（火）
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 四之宮公民館 集会室
- 3 テーマ 四之宮地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者10名 傍聴者9名



四之宮公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。今日は夜分にも関わらず、非常に暑い中、対話集会に御参加いただき厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

現在、市内の各地域に伺って地域の皆様との対話集会を開催させていただき、皆様のお声を一つでも市政に反映させようとして取り組んでいます。市長に就任させていただいた平成23年の3月には、東日本大震災がありました。そこで、防災対策をテーマに市内4か所にて対話集会を開催させていただき、この四之宮公民館にも、平成24年2月に伺わせていただきました。平成24年度からは、地区自治会連合会単位にて、地域のまちづくりをテーマに開催させていただいています。

平塚市の各地域には豊富な歴史や人材があり、様々な活動が展開されています。地域がさらに輝くためには、地域の課題を地域で捉えていただき、行政と一緒に取り組んでいただくことが必要であると考えています。そして、輝く地域の集合体である平塚市は、さらに発展すると信じています。

今日は四之宮地区の課題や取り組みを教えていただき、市政への反映を考えさせていただきます。できる限りのお答えをさせていただきますが、中にはこの場で具体的なお答えができないこともあるかと思います。その際には、事務局から担当課に確認し、皆様にお返しさせていただきます。今日はざっくばらんなお話をお願いいたします。

6 主な対話集会の内容

① 防災・防犯について

【参加者】

銀河大橋の下には、相模川の堤防が整備されていない場所があります。平塚市と茅ヶ崎市、寒川町の首長が集まる相模川整備促進協議会では、毎年国に対する堤防整備の要望を行っています。築堤のためには、まず排水路の整備が必要とのことですが、必要な用地買収は完了していません。用地買収や排水路整備を経てからの築堤には時間がかかります。しかし、相模川には津波が遡上する危険があり、災害は明日起きるかもしれません。地域の安全のために、目に見える対応をお願いしてきました。そして、今年の7月、高さが1メートルほどある土のうを約300個積んでいただきました。この土のうについては、定期的な点検もお願いしたいと思います。また、築堤と同様に前回、平成24年2月のほっとミーティングでお話しした鹿見堂の下水道公社の排水路の蓋かけ工事も進めていただいています。このように、地域と行政の取り組みの中で、四之宮地区の防災対策が進んでいます。

【市長】

神奈川県での想定では、元禄型関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震が起きた時、平塚市に一番大きな津波が到達することが予想されています。地震発生19分後に6.9メートルの津波が到達する予想です。国道134号の高さが約8メートルあり、国道を越える津波は想定されません。しかし、相模川と花水川を遡上する津波による川沿いの地域への浸水は心配されます。相模川では、河口の大浜の地域と銀河大橋の下の地域の堤防が未整備です。

昔から、銀河大橋の下には、相模川が氾濫したときに水を逃がすための場所があり、現在、その場所の築堤が完了していません。毎年、平塚市と茅ヶ崎市、寒川町は国に対して、相模川の堤防整備を要望しており、去年は、直接国土交通大臣に会って要望しました。地震による津波の相模川遡上を考えると、できるだけ早く堤防を整備する必要があります。鹿見堂の排水路に蓋をかけ、ボックスカルバートという筒状のコンクリートで排水路を整備し、その上に堤防を造ります。今回、地域の安心安全と築堤の準備として、国土交通省京浜河川事務所には土のうを積んでいただきました。この対応においては、地域の皆様、特に自治会の皆様には御尽力いただきました。

【参加者】

前回のほっとミーティングにおいて、防犯街路灯のLED化の話をさせていただきました。市長には、早速、平塚市全体での防犯街路灯のLED化を進めていただきました。この四之宮地区では、平成24年度に20灯、今年度25灯、計45灯のLED化が完了します。LEDによる防犯街路灯はとても明るく、防犯上大変効果があります。しかし、自治会が管理する防犯街路灯の電気料金はこの5年間で、44万円から74万円に上がりました。これからも自治会や市が防犯街路灯を維持するためには、LED化による電気料金の抑制が必要です。

【市長】

自治会が管理する防犯街路灯の設置や電気料金に対しては、市から補助をさせていただいています。行政は地域の計画的な取り組みをお支えする必要があります。防犯街路灯のLED化は、電気料金の抑制だけでなく、環境面や防犯上も必要なことです。地域の安心安全や環境保護のために、これからも防犯街路灯のLED化や継続的な運営に取り組んでいきます。

② ごみ対策について

【参加者】

ごみの集積所では、地域の住民が交代で見守りをしています。しかし、不法排出や不法投棄が多く、深夜や早朝に自動車でごみを置いて行ってしまう人がいます。最近では、タイヤが投棄された被害もありました。悪質な業者がごみを放置しているとの話もあります。

【市長】

ごみの集積においては、自治会など地域の皆様に大変な御協力をいただいています。本当にありがとうございます。各地域でほっとミーティングを開催すると、必ずごみの問題のお話をいただきます。不法排出や不法投棄の課題も非常に多く、自動車でごみを運んで置いていってしまう被害は市内各地で多くあります。一晩のうちに、田んぼに廃材を捨てていってしまう被害もありました。このような行為は犯罪行為です。警察との連携を図り、被害が多いところには、定期的な見回りも行っています。

【参加者】

集積所に不法排出されたごみについて、自治会長が一旦持ち帰り、次回収集日に改めて出す対応を行っているところもあります。また、集まるごみの量が多すぎて集積所からごみがあふれている場所や交通量の多い危険な道路に面している集積所もあります。

【市長】

集積所の管理においては、自治会長に御負担をかけすぎないように、不法排出されたごみを行政が引き取ることも考えさせていただきます。また、集積所は地域自治会に相談しながらスペースを指定させていただいています。これからも、地域の皆様には御迷惑がかからないように対応させていただき、場所の変更なども含めた御相談はお受けさせていただきますので、よろしく願いいたします。

【参加者】

退職後、初めてごみを出すようになり、現実を目の当たりにしました。不法排出や不法投棄だけでなく、集積所からごみを持ち帰ってしまう人もいます。例えば、自転車に資源ごみの張り紙をしても、持ち去られてしまうこともあります。新聞紙などは、大きな自動車を持ち帰り、売ってしまうそうです。自治会が行う集積所の当番だけでなく、パトロールなどの対策が必要です。

【市長】

自転車や新聞紙などの資源ごみは、今後大切な資源になります。集積所から持ち帰ることはできません。警察との連携も含め、担当課にて対応を確認させていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

本市では、資源物の持ち去りを禁止しているところですが、目撃されたように、平然と持ち去るケースの通報をいただいています。

これまでも対策として、看板やパトロールをはじめ、警察への通報、また自治会・ごみ関係団体等へ通報の協力をお願いしていますが、最近は悪質化（夜間、人気のない集積所、集団的）傾向にあり、苦慮しています。このため、平塚市資源回収協同組合とも連携をはかり、さらなる抑止対策の検討を進めているところです。

ついては、市民の皆様には、資源再生物の排出時間（収集日の午前7時から午前8時30分の間）を守るように協力をいただくとともに、身に危険が及ばない範囲で、引き続き持ち去りの日時、場所、車両等の特徴などを本市循環型社会推進課（電話21-8796）へ情報提供くださいますようお願いいたします。

（事務担当は循環型社会推進課資源循環担当）

【参加者】

自治会未加入者の中にも、ごみ出しのルールが守れない人が多くいます。不法排出や不法投棄を招く可能性はありますが、有料化によって負荷をかけることで、ごみ処理に対する意識を高めて責任を持たせることも必要です。

【市長】

今後、大磯町や二宮町との広域ごみ処理がはじまります。また、新しい環境事業センターが10月から稼働します。新しい焼却施設で1日に処理できるごみの量は315トンです。1市2町から集まるごみの量を日量315トン以下に抑えるためには、これからもごみの減量化や資源化をお願いさせていただく必要があります。また、有料化については、有識者などが集まる平塚市廃棄物対策審議会においても、将来的には、ごみ処理の有料化を考える必要があるとの答申が出ています。

③ 環境について

【参加者】

相模川の右岸処理場において、放射能汚泥の問題がありました。近くには子どもが遊ぶ公園もあるので心配です。汚泥の処理について聞きたい。

【参加者】

福島第一原子力発電所事故直後、右岸処理場の汚泥焼却灰から高い濃度の放射能が検出されました。右岸処理場では、焼却灰をテントで覆う対応を行い、テントの外には影響が出ませんでした。近くにある公園の管理事務所では、現在も毎日放射線の数値を測った結果を表示しており、心配ない状態が続いています。

【市長】

下水には、様々なものが入り込むため、どうしても放射能度が高くなります。右岸処理場の汚泥焼却灰の放射能度は徐々に低くなっています。さらに、密閉しているため、地域への影響はありません。現在では、濃度が下がった焼却灰を処理し、アスファルトに利用する業者もあるようです。また、福島第一原子力発電所事故後、平塚市では放射線を測定する機械をお貸ししています。また、消費者庁からは食品の放射能検査を行う機械を借り、市民の皆様が食品を持ち込んで検査できる体制も整っています。

【参加者】

相模川流域下水道事業右岸処理場環境対策事務連絡会において、四之宮地区住民代表として役員をしています。この四之宮地区や大神地区、田村地区など、相模川沿いの地域にはごみの焼却場や下水道の処理場があります。この地域は負の地域とも言われ、課題が多い地域です。行政は、このような施設が地域にあることを認識し、まちづくりを行う必要があります。

【市長】

御意見のとおりです。私の地元である大神地区には、長く焼却施設がありません。地域の皆様にとって、施設があるから悪い地域となるのではなく、施設がある素晴らしい地域になる必要があります。今回、新しくなった大神地区の環境事業センターについても、そのように思っただけの施設になるように努力していきます。この四之宮地区にある相模川の右岸処理場についても同様です。決して地域にとってマイナスになるのではなく、地域のためにプラスに転じられるよう、取り組んでいきたいと考えます。

【参加者】

公園や桜並木など、新緑や満開の時期を迎える前に剪定が行われてしまうところがあります。つばみや花の剪定は、樹木そのものが気の毒です。

【市長】

樹木や花は地域の憩いでもあります。公園の樹木など、剪定の時期については、様々なお声をいただいています。担当課には、剪定の時期を考えて取り組むように指示しています。

【参加者】

茅ヶ崎駅北口から国道1号までの通りは、地域の努力によってシロカシの木が植樹され、立派な並木通りになりました。平塚市でも、緑化まつりでは景観重要樹木が募集されていました。この四之宮地区には国道129号までの湘南新道があります。しかし、通りに木は1本もなく、植樹できそうなスペースには自動車が乗り入らないように鉄柱が建てられています。この通りが地域の憩いの場となる緑化という観点からも、並木道が整備されると良いです。

【市長】

湘南新道は県の道路で、県が工事を行っています。現在、国道129号からパイロット通りまで、4車線化に向けた土地の買収を行っています。地域からのお声として、湘南新道沿いの緑の少なさや緑化への対応については、担当課を通して国や県に伝え、地域の緑化に努めていきたいと考えます。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

いただいた御意見を、湘南新道の整備を所管する神奈川県平塚土木事務所へお伝えしたところ、沿道の方々の様々な御意見を踏まえ、現在まで設置していないとのことでした。

詳細な内容につきましては、平塚土木事務所工務部道路都市課（電話0463-22-2711）へお問い合わせくださるようお願いいたします。

本市としては、今後、できるだけ地域の緑化に寄与できるよう、地域や県と連携して調整を図っていきたいと考えています。

（事務担当は土木総務課国県事業推進担当）

④ 交通・福祉・子育てについて

【参加者】

大野小学校北側の通学路では、毎日100人くらいの子どもが学校に通っています。しかし、通学時間帯には、国道を避ける自動車が50台ほど通る危険な道路です。地域では子どもの安全のため、今年の3月に交通規制を求める文書を提出しました。しかし、教育委員会が実施した合同の現地調査は7月になりました。要望から4か月が経過しています。以前、通学中の児童の列に車が突っ込んでしまう事故が全国的な話題になりました。事故が起きてからでは間に合いません。交通規制に向けた計画を示し、対応してほしいと思います。

【市長】

子どもの安全のための取り組みを本当にありがたく思います。私も、PTA役員を担っていたころには、時間規制をお願いしたことがあります。規制がかかる道路周辺に住む方の御理解をいただければ、時間規制も可能になるかと思えます。大野小学校北側の通学路については、改めて教育委員会に確認し、今後どのような対応ができるかを確認させていただきます。

当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

日ごろより、児童生徒の交通安全について、御理解、御協力いただきありがとうございます。また、7月30日に実施しました大野小学校通学路の合同点検においては、多くの地域の方に御参加いただき感謝いたします。

さて、御要望いただきました時間帯による自動車の進入を制限するなどの交通規制については、警察の所管となっています。大野小学校の合同点検時に参加した平塚警察署員から説明がありましたが、交通規制を求める文書はすでに平塚警察署で受理しているとのことでした。また、交通規制については、その道だけでなく、その周りの区域も含め進入規制を考えなければならないため、地域の合意が必要となる旨の説明がありました。したがって、交通規制の要望については、お手数ですが関係自治会と調整していただき、平塚警察署交通課と相談・打合せをしていただきたいと思います。

なお、合同点検の結果、本通学路への安全対策として、本市では道路面への「スクールゾーン」標示について検討するとともに、国道129号の東側の信号と西側の信号に時差をつけることを検討するよう、警察に依頼しました。

（事務担当は教育総務課学務担当）

【参加者】

横浜市は年間3,000円で市営の地下鉄やバスが乗り放題です。平塚市では、バスの年間パスポートは9,000円と高額です。郊外の高齢者などが、引きこもらずに気軽に外出できるよう、補助の検討やバス会社への話をしてほしいです。

【市長】

バスの料金については、5年ほど前までは市からの補助がありました。利用度の低下や他人が使用してしまう問題などがあり、終了させていただきました。早急に補助を再開することはできませんが、機会があれば、バス会社と話をしたいと考えます。

また、これからはさらに高齢化が進む時代です。現在の平塚市の高齢化率は約23パーセントですが、団塊の世代の方が65歳を迎えると、30パーセントを超える見込みです。交通を含め、高齢者の方がお住いの地域で様々なサービスを楽しむまちづくりが求められます。

【参加者】

少子高齢化社会です。高齢化の裏には少子化があります。高齢者には介護などのサービスがしっかりと受けられるまちであってほしいです。また、子は宝です。宝を増やすため、子育ての環境も大切です。

【市長】

本当に高齢化は進んでいます。地域の中で医療や介護、福祉などのサービスが受けられる地域包括ケアを構築することが、高齢者の方の住みやすさにつながります。また、平塚市はこれからも発展するまちです。そのために、子育ては重要です。子育ての環境を整えるためにも、小児医療の充実や待機児童の解消などを進めていきたいと考えます。

⑤ 地域について

【参加者】

公民館のまちづくりセンター化が話題になっています。近隣市町村の公民館では、有料化を実施しているところもあります。公民館のまちづくりセンター化と有料化について聞きたい。

【市長】

平塚市は全国でも珍しく、概ね小学校区に1館ずつ公的な公民館があります。さらに、地域の方に館長を担っていただき、市の職員を配置しています。生涯学習や社会教育を行っていただいておりますが、これからは地域活動の中への公民館の位置づけを考えます。私も、職員の間、岡崎公民館に5年間務めさせていただきました。当時から、公民館が地域まちづくりの拠点になってほしいと考えてきました。町内福祉村と同様に、高齢者の方へのサービスや子育て支援など、大いに公民館を生かしてほしいと考えています。このような公民館のまちづくりセンター化を進める中で、利用料を発生させることや指定管理など、外部に運営を任せることも考えていません。

【参加者】

地域では、自治会役員のなり手と会員自体の減少が課題です。このことは、これからの地域のまちづくりにおいて、大きな課題になります。

【市長】

現在、自治会への加入率は約76パーセントです。災害時の対応や行政からの大切な情報伝達のためには、全ての方に加入していただきたいと考えています。また、会員の減少は、地域のつながりが弱くなる証ではないかと思えます。宅地建物取引業協会とは協定を結び、住居を紹介するときには自治会への加入を促していただいております。役員のなり手も課題です。負担や責任がかかりすぎることがないように、行政もできるだけサポートしていきたいと考えます。

7 市長によるまとめ

今日は、それぞれの立場から御意見をいただきありがとうございました。地域を愛し、地域を想うからこそその御意見であったと思います。いただいた御意見は真摯に受け止め、市政への反映を考えさせていただきます。

これからも、行政は責任を持って行政サービスを進めさせていただき、皆様の思いが形になるよう、まちづくりに取り組んでいきます。どうぞ、これからも地域の活動に御尽力くださるようお願いいたします。

今日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 16件（参加者 10件 傍聴者 6件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	0名	2名	0名	5名	9名	0名

性別

男性	14名
女性	2名
回答なし	0名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	5名	3名	8名
ポスターやチラシ	1名	0名	1名
町内会など地域から	4名	3名	7名
市ホームページ	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	7名	1名	8名
まあよかった	2名	2名	4名
どちらともいえない	0名	1名	1名
あまりよくなかった	1名	1名	2名
よくなかった	0名	1名	1名
回答なし	0名	0名	0名

質問3 本日の対話集会のご感想や運営へのご提案等について。

回答

- ・ 発言が偏っていたように思える。
- ・ 公民館の有料化を考えていないという回答に安心しました。
- ・ 司会の進行が好印象でした。
- ・ 詳しい内容の対話を行いたかった。
- ・ まちを愛する気持ちや熱の入った意見が聞けて良かった。
- ・ 机があったほうが良い。
- ・ 自己紹介と意見の発表は別に行いたい。
- ・ 司会者は幅広い知識があり、公平で良かった。
- ・ 対話集会の時間は短い。
- ・ 参加者ごとの苦勞がよく分かった。
- ・ もっと多くの参加者が望まれる。
- ・ 明確な発言が聞きたかった。